

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90223	民族音楽学研究	4単位 通年	1・2	講義	小西 潤子

■テーマ グローバル社会における音楽芸能について理解する

■授業の概要

応用音楽学の考え方について学んだうえで、「グローバル化社会における音楽芸能」を大テーマ、「社会」「環境」「学校教育」「地域社会」「文化行政」「国際社会」をトピックスとし、沖縄を含めたアジア太平洋地域の音楽芸能パフォーマンスに関する文献講読および事例研究を行う。これにより、民族音楽学研究の動向を知り、自らが課題を見出して取り組む力を身につける。

■到達目標

- ・民族音楽学研究の動向を知る。
- ・日本語・英語文献を読む力を向上する。
- ・自らが課題を見出して取り組む力を身につける。
- ・民族音楽学の課題について、論理的に記述することができる。

■授業計画・方法

- | | | |
|----------------|---------------------|-----------------|
| 1. 民族音楽学の研究動向① | 16. 音楽芸能と地域社会① | |
| 2. 民族音楽学の研究動向② | 17. 音楽芸能と地域社会② | |
| 3. 民族音楽学の研究動向③ | 18. 音楽芸能と地域社会③ | |
| 4. 民族音楽学の研究動向④ | 19. 音楽芸能と地域社会④ | |
| 5. 音楽芸能と社会① | 20. 音楽芸能と地域社会⑤ | |
| 6. 音楽芸能と社会② | 21. 音楽芸能と文化行政① | |
| 7. 音楽芸能と社会③ | 22. 音楽芸能と文化行政② | |
| 8. 音楽芸能と社会④ | 23. 音楽芸能と文化行政③ | |
| 9. 音楽芸能と社会⑤ | 24. 国際社会における音楽芸能公演① | (担当: 横道文司講師 予定) |
| 10. 音楽芸能と環境① | 25. 国際社会における音楽芸能公演② | (担当: 横道文司講師 予定) |
| 11. 音楽芸能と環境② | 26. 国際社会における音楽芸能公演③ | (担当: 横道文司講師 予定) |
| 12. 音楽芸能と環境③ | 27. 国際社会における音楽芸能公演④ | (担当: 横道文司講師 予定) |
| 13. 学校教育と音楽① | 28. 国際社会における音楽芸能公演⑤ | (担当: 横道文司講師 予定) |
| 14. 学校教育と音楽② | 29. 国際社会における音楽芸能公演⑥ | (担当: 横道文司講師 予定) |
| 15. 前期総括 | 30. 総括 定期試験は実施しない。 | |

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・図書館や音楽資料室所蔵の関連文献、音源・映像資料を利用して、各自授業の予習・復習をすること。
- ・英語文献の講読に際しては、内容理解に必要な予習・復習を徹底すること。
- ・積極的な発言や質問をすること。

■成績評価の方法・基準

□方法

- ・授業への取り組み (60%)、期末レポート (40%)
- ・学習意欲や主体的な取り組みが見られるか。
- ・理解が深まるとともに、自らの課題を見いだし解決する力がついたか。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究所 (後期博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (資料) 等

- 教科書 教員の指示による。
- テキスト 教員の指示による。
- 参考文献 教員の指示による。